

点検施設一覧表(トンネル・シェッド・大型カルバート・門型標識・舗装)

市町村名

南牧村

番号	施設名	延長／基	備考
1	大黒岩隧道	L=50.0m	W=6.55
2	屋敷山隧道	L=97.0m	W=6.55
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

平成26年 道路施設点検業務 トンネル定期点検数量（南牧村）

点検対象トンネルの諸元（実施数量）

(1) 基本的諸元

NO	トンネル名	路線名	建設年度	施工方法	トンネル延長	トンネル中央高	トンネル幅員	上半半径	側壁高	坑門形式	両坑門面積	アーチ側壁部面積	路面路肩面積	打音・触診面積	応急措置面積
					(m) A	(m) B	(m) C	(m) D	(m) E		(㎡) F	(㎡) G	(㎡) H	(㎡) I	(㎡) J
1	大黒岩	羽沢桧沢線	昭和54年	矢板	49.0	5.75	6.55	3.3	2.85	突出型	29.2	787.0	321.0	734.6	0.2×12=2.4
2	屋敷山	羽沢桧沢線	昭和59年	矢板	98.5	5.8	6.55	3.3	2.9	面壁型	74.5	1,592.0	645.2	1,499.8	0.2×18=3.6
3															
4															
5															
計					147.5		-	-	-		103.7	2,379.0	966.1	2,234.4	6.0

点検調査面積＝(両坑門)+(アーチ側壁部)＝F+G＝2,482.7㎡

(1) の各面積は、下記より算出した。

両坑門面積は、添付資料より算出

アーチ側壁部面積：G＝A×（π×C+2D）

路面路肩面積：H＝A×B

打音・触診面積：アーチ側壁部、坑門の90%

応急措置面積：幅（0.2m）×長さ（L）

屋敷山TN

平均ひび割れ密度は、16.5「cm/m²」

	クラック長 (m)	覆工面積 (m ²)	各スパンのひび割れ密度 (m/m ²)
PS	2	16	0.125
S001	25	142	0.176
S002	15	140	0.107
S003	22	140	0.157
S004	27	140	0.193
S005	21	140	0.150
S006	25	140	0.179
S007	32	140	0.229
S008	32	140	0.229
S009	20	140	0.143
S010	30	140	0.214
S011	0	94	0.000
PE	2	14	0.143
合計	253	1526	
ひび割れ密度(m/m ²)	0.165792923		

大黒岩隧道

平均ひび割れ密度は、13.9「cm/m²」

	クラック長 (m)	覆工面積 (m ²)	各スパンのひび割れ密度 (m/m ²)
PS	1	11	0.091
S001	5	69	0.072
S002	6	94	0.064
S003	11	92	0.120
S004	21	94	0.223
S005	10	94	0.106
S006	17	94	0.181
S007	14	94	0.149
S008	15	84	0.179
S009	7	38	0.184
PE	2	19	0.105
合計	109	783	
ひび割れ密度(m/m ²)	0.139208174		